

11/7

仏滅 木

旬のもの 煎餅(せんべい)

干菓子の一種です。

せんべいは奈良時代に作られました。当初は煎ったもちの意味で、「いりもちい」と呼んでいました。現在は小麦粉を主体にしたものとコメの粉を用いたものがありますが、米粉系のせんべいが主流で、関東では埼玉県草加で作られる「草加せんべい」が有名です。昔は塩味をつけていましたが、現在はしょうゆをつけたものが多いです。

鍋の日

食品メーカーのヤマキ株式会社が立冬になる確率の高い日を選び、「鍋物がよりおいしくなる季節の始まり」であることから制定。寄せ鍋や水炊きなどの定番に加えて、近年はトマト鍋、カレー鍋、豆乳鍋、タジン鍋で作る蒸し鍋なども人気があります。

知恵の日

朝日新聞社が1988（昭和63）年「朝日現代用語 知恵蔵（ちえぞう）」を発刊したことにちなんで制定しました。この知恵蔵は、現代社会で生活するために必要な現代用語をまとめた辞典とされています。

11/8

大安 金

旬のもの 占地(しめじ)

占地はシメジ科に属し、秋から初冬にかけてが旬です。種類も多く、「香りマツタケ、味シメジ」といわれているように、マツタケよりも味はよいとされています。

必須アミノ酸のリジンや食物繊維、日本人に不足がちなビタミンB2などが多く含まれ、疲労回復の効能もあります。

レントゲンの日

明治28年11月8日にドイツの物理学者レントゲンが発見したX線は、身体を傷つけることなく身体の中を見ることができるというものでした。X線は上や服などは透過し、骨などは透過しにくいので、レントゲン写真が生まれました。

世界都市計画の日

アルゼンチンの都市計画学者・パオレラ教授が1949年に提唱しました。日本では都市計画協会が1965（昭和40）年から都市計画に関する講演などを実施しています。